

## 平成 30 年度 第 1 回津島市民病院経営改革評価委員会議事録（要約）

- テレビ放映（黒字化）を拝見した。病床数は減ったが救急受入、病床稼働率が上がっており、黒字化に結び付いた。平均在院日数短縮の要因は。【岩瀬委員】  
⇒ 重症度、医療・看護必要度を常にチェックし、地域包括ケア病棟への転棟を常に意識している。【川井診療局長】
- 健康診断からの受け入れなど努力はされているか。【岩瀬委員】  
⇒ 当院の健康管理センターからの受け入れを積極的に進めている。また、健康診断を主に行われている開業医さんへの訪問も行っている。【久富副院長】
- 職員の方々の表情が柔らかく、自信をもったものになった。明るくなった印象。個々の職員のやる気が大切。【松浦委員】
- 医療機器購入は計画的に行わなければならない。まとめて購入すること、専門職の介入が必要。【松浦委員】  
⇒ 29 年度には、血液ガス測定機器を複数台同時購入した。【古田事務局長】
- 医師に診療に集中してもらうために、医師事務作業補助者の活用が有効。充足を図るとよい。【松浦委員】  
⇒ 貢献してもらい、医師として助かっている。医師事務作業補助者の実力の更なる向上ができるとうい。【川井診療局長】
- 医師事務作業補助体制加算は、いくつを取得しているか。【伊関委員】  
⇒ 75 対 1。【前田医事課長】  
⇒ 40 対 1 を目指すべき。【伊関委員】
- 経営改善のいい成果が出てきた。D P C 機能評価係数のランクも上がっている。正しい医療を行うと係数は上がってくる。この勢いであと 2 年から 3 年頑張ると経営はよくなる。【伊関委員】
- 経営がよくなると、「一般会計からの繰出金を削れ」という論になりがち。改善してきたものの、一時借入金があり現金がない。繰出金の減額はしないように。体制支援の市の見解はいかがか。【伊関委員】  
⇒ 市も一体となってサポートしていく。一時借入金があるので、引き続き予定されている繰り入れを行っていく。更なる医療の質の向上を市としても約束していく。【日比市長】

- 人材育成の観点から、次のステップを。認定看護師の数と分野はいかがか。【伊関委員】
  - ⇒ がん、化学療法、緩和、摂食嚥下、訪問看護、リハビリ、救急、脳卒中、感染などで10人くらい。【大鐘看護局長】
  - ⇒ 認定看護師は20人くらい欲しい。【伊関委員】
  
- 資格取得に対する病院の支援はあるか。【伊関委員】
  - ⇒ ある。年2名は研修受講が可。【大鐘看護局長】
  - ⇒ 病院あげて取り組んでいくとよい。【伊関委員】
  
- 認知症ケア加算の算定状況は。【伊関委員】
  - ⇒ 資料が手元になく、数値の把握はしていない。【前田医事課長】
  - ⇒ 多いと思われる。【川井診療局長】
  - ⇒ 認知症ケア加算1の取得について積極的に進めるとよい。【伊関委員】
  
- 新たな施設基準、加算は、その効果額等を院内職員にフィードバックし、士気の向上を図るべき。【伊関委員】
  - ⇒ 加算取得時の見える化を行うと職員のモチベーションが上がる。【岩瀬委員】
  
- 診療局として力を入れていきたいことは。【伊関委員】
  - ⇒ 医師が足りない。特に内科系、整形外科、脳神経外科を増やしたい。当院を選んでもらえるように、最新医療機器をそろえて働きたいと思うようにできるとよい。大学からの派遣に頼るだけでなく、研修医に残ってもらえるようにしたい。【川井診療局長】
  
- 現場に詳しい者の意見を取り入れて、現場に落とす必要がある。現場の意見をしっかり反映できるプロジェクトチームを設置するなどして解決を図るとよい。【松浦委員】
  
- 薬剤室の課題・方針等はいかがか。【伊関委員】
  - ⇒ 認定薬剤師の育成に努めている。実習生に魅力あるものにして薬剤師を集めたい。【長谷川薬剤室長】
  
- 薬価改定が厳しいが、薬価交渉はさらに厳しく行うこと。【伊関委員】
  
- 職員の資格や施設基準は、院内入口やホームページ等でアピールするとよい。【伊関委員】

- コメディカルの責任者はどなたか。【伊関委員】
  - ⇒ 8つのセクションの統括をしている。コストをとれる部署は限られている。【竹内診療技術局長】
  - ⇒ レベルの高い医療技術職員を育成するために、自己研鑽を図ることが必要。【伊関委員】
  
- 現場のことが分かる技師が医療機器選定に関わることが重要。検査技師、放射線技師、臨床工学技士等の専門職の介入を。【松浦委員】
  - ⇒ 機器購入には、メンテナンス、修理方法に詳しい臨床工学技士の介入を図るべき。【岩瀬委員】
  
- 貴重なご意見・ご指摘をいただきありがとうございます。数値で示すことの大切さ、現場の声の反映、チームでの取り組みなど、いただいたことを無駄にすることなく取り組んでいきたい。【日比市長】